

改訂第11版の編集にあたって

『救急救命士標準テキスト』は1991年の初版発行以来、時代の変化と医療の進歩に合わせて改訂を重ね、このたび第11版を刊行する運びとなりました。本書は、救急救命士を目指す方々にとって必要不可欠な知識を集めた基本的な教科書であるとともに、現場で活躍する救急救命士の皆様にとっても日々の業務の中で立ち返るべき指針となることを目指しています。

今回の改訂では、救急救命士国家試験出題基準に準拠しつつも、試験対策を超えて、現場での適切な判断と処置に必要な知識を体系的に学べるよう心がけました。とくに、病態の理解をより深められるよう構成を工夫しています。また、救急救命士法改正に伴う医療機関内での業務など、救急救命士の活躍の場が広がる中で求められる新たな知識も盛り込みました。改訂第9版から導入した「到達目標」は引き続き各節に設定し、学習の指標として単なる知識の想起にとどまらず、複雑な病態の解釈や臨床推論の向上につながる内容へと発展させました。

最新の「蘇生ガイドライン」などの関連ガイドラインとの整合性をできるだけ確保し、最新の医学的知見に基づいた正確で実践的な情報を提供できるよう努めました。また、テキスト全体を通しての記述の整合性にも注意を払っています。より理解しやすい内容となるようできるだけ平易な表現を用い、写真やイラスト、表などについては、理解を深めるために効果的なものを厳選し、多数の新しい素材を取り入れています。

救急救命士の活躍の場は、従来の病院前の枠を超え、医療機関内へと広がりを見せ、その責任と期待はますます高まっています。本書が救急救命士の知識と技術の向上に寄与し、ひいては傷病者の救命と社会復帰に貢献できることを心から願っています。

本書の改訂作業にご尽力いただいた編集委員の皆様、執筆者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、編集作業のすべてにわたり主体的・献身的に多大な労をとっていただいた副編集委員長 田邊晴山先生に厚く御礼申し上げます。

2025年4月

救急救命士標準テキスト編集委員会

編集委員長 堤 晴彦